

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 13 日作成)

小委員会名	建築の質感・色彩評価小委員会	主 査 名：北村薫子 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (光環境運営委員会)	委員長名：岩田利枝 主 査 名：大井尚行
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築設計や景観計画における色彩や質感の評価法の検討と提案 ・ 建築空間における色彩・模様・テクスチャの知覚効果の検討 ・ 都市・建築の色彩測定法の検討 ・ 景観色彩計画におけるカラーマネジメントの検討 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無： 無	
	主査：北村薫子 (武庫川女子大学) 幹事：土屋潤 (九州大学) 委員：飯島祥二 (琉球大学), 池田圭介 (極東米海軍施設), 石田泰一郎 (京都大学), 稲垣卓造 (大同大学), 井上容子 (奈良女子大学), 神農悠聖 (大手前大学), 佐藤仁人 (京都府立大学), 中山和美 (東京電力), 名取和幸 (日本色彩研究所), 槇 究 (実践女子大学), 宮本雅子 (滋賀県立大学), 山本早里 (筑波大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	建築空間における仕上げ材の色彩・質感等の特性評価 WG： 建築空間における仕上げ材料の色彩や質感が及ぼす心理的特性について、物理的特性と関連付けながら評価し、現代に求められる仕上げ材の色彩・質感の方向性を探る 色彩計測と色彩計画 WG： 色彩計測に関する機材・アプリケーションの情報を収集し、それらを活用した色彩計測手法を検討すると共に、その計測結果を活かした色彩計画のあり方を探求する	
2018 年度予算	105,000 円	ホームページ公開の有無： 無 委員会 HP アドレス： 無

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. なし
講習会	1. なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. なし
大会研究集会	1. なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 色彩計測に関する情報交換と新たな測定手法の妥当性を検証できた。 2. 空間の評価に及ぼす表面特性の定量化の検討を行った。 3. ジョイントシンポジウムに向けた情報交換と実施準備を行った。
委員会活動の問題点・課題	1. 特になし

2018 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・**最終年度評価**)

総合評価 (4段階評価)	①	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>2018年度の活動計画として挙げていた下記を実施することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築の色彩計測をテーマとして 国内外で普及し始めている携帯可能な測色計を委員相互に紹介し、精度を検討した。また、タブレット端末やアプリを用いた色彩計測を行い、結果の紹介や測定手法の妥当性を検討した。 ・ 建築の質感をテーマとして 透光性材料である和紙を対象とし、質感評価および物性の測定に関して、数回にわたり成果の紹介と定量化の検討を重ねた。 <p>さらに、光環境運営委員会内の他の小委員会との協働で以下の活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 視環境設計小委員会輝度・色度設計 WG とともに、2016年度に合同研究会、2017年度にジョイントシンポジウム「景観計画における色彩研究」を実施し、色彩計画の実務事例、質感の効果、色彩決定における環境心理的知見等について、相互に知見を広げることが出来た。 ・ 光環境デザイン小委員会とともに、建築の「白」色に関する情報交換を行い、2018年度のシンポジウムへの共催により成果を公開する準備を進めた。ゲスト講演者の事情により実施日が延期となったため、2019年度の開催を予定している。 			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。